



和歌山県職員採用説明会

あなたの想いを、和歌山の未来のために



○本日の説明内容

- 1 和歌山県での暮らしに関するデータ
- 2 県の組織と担当業務
- 3 初任給、勤務条件、異動・昇任
- 4 求める人材
- 5 採用試験の概要
- 6 受験者数、競争率の推移
- 7 合格から採用までの流れ
- 8 職務に関する情報提供



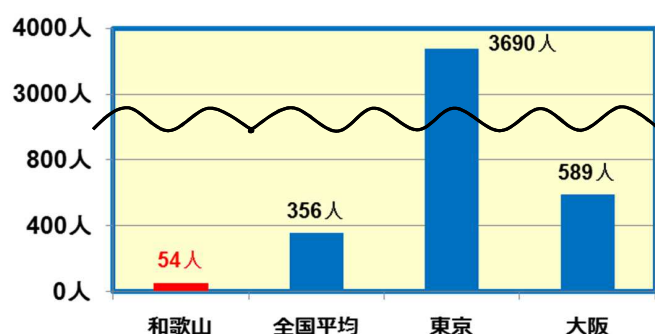
和歌山県での暮らしやすさに関するデータ

[1]若い時期の充実した暮らし

	和歌山	全国平均	東京	大阪
①大学卒初任給	184,900円	201,800円	214,900円	206,300円
②25～29歳の平均月給	256,100円	252,900円	308,200円	280,600円
③家賃平均月額	39,861円	54,052円	77,174円	53,603円
④消費者物価地域差指数	100.0	100.0	104.4	100.0

[2]子育て環境が整った暮らし

待機児童数(平成31年4月1日時点)



有業者の平均帰宅時間



和歌山県人事委員会

2

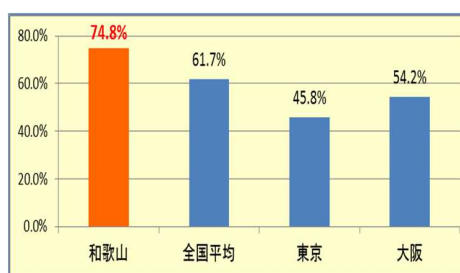
和歌山県での暮らしやすさに関するデータ

[3]ゆったりとした暮らし

世帯主の片道通勤時間



持ち家比率



	和歌山	全国平均	東京	大阪
⑦1㎡当たり住宅地平均価格	35,400円	51,072円	354,600円	149,200円
⑧土地付住宅建築費	3,778万円	3,782万円	5,592万円	4,264万円
⑨持ち家の延べ面積	128.8㎡	122.3㎡	90.7㎡	101.6㎡

《就職してから》

充実した暮らし

《家庭を築いてから》

子育て環境が整った暮らし

《家族が増えてきてから》

住環境が
ゆったりした暮らし

《毎日の生活》

余暇を楽しみ
安心・安全な暮らし

《和歌山での生涯》

ゆとりある豊かな暮らし

和歌山県人事委員会

3

○県の組織と担当業務（知事部局・本庁）

知事室	広報、意見聴取、重要施策の調整・進行管理等	知事 副知事 部 局 課 室
監察査察課	不正行為等通報の処理、不当要求行為に対する助言、行政監察等	
総務部	予算編成、県税徴収、財産管理、市町村助言、人事管理、防災等	
企画部	総合的な企画、人権施策、統計、情報化推進、地域振興、国際交流等	
環境生活部	環境保全、男女共同参画、消費者施策、食の安全、NPO推進等	
福祉保健部	障害者・高齢者の福祉、少子化対策、保健・医療施策等	
商工観光労働部	商工業振興、観光振興、企業誘致、労働施策等	
農林水産部	農林水産業振興に係る指導、研究、支援、販路開拓等	
県土整備部	道路、河川、港湾、公園、下水道等の基盤整備や維持管理等	
会計局	県の収入・支出及び物品の調達等	

○主な勤務先（知事部局・教育委員会）

《左記以外の出先機関》

- 東京事務所
- 環境衛生研究センター
- 動物愛護センター
- 消費生活センター
- 男女共同参画センター
- 子ども・女性・障害者相談センター
- 精神保健福祉センター
- こころの医療センター
- 県立高等看護学院 なぎ看護学校
- 難病・子ども保健相談支援センター
- 公営競技事務所
- 工業技術センター
- 和歌山産業技術専門学院
- 田辺産業技術専門学院
- 農業試験場 果樹試験場
- かき・もも研究所 うめ研究所
- 暖地園芸センター 畜産試験場
- 養鶏研究所 林業試験場
- 水産試験場 農林大学校
- 就農支援センター
- 紀北家畜保健衛生所
- 紀南家畜保健衛生所
- 和歌山下津港湾事務所
- 土砂災害啓発センター
- 県内高等学校等

○ 初任給

● I 種

	一般行政、警察事務、 総合土木、建築、電気	化学、農学、林学、水産	
大学新卒 (一例)	188,700円	本庁・振興局	188,700円
		試験研究機関	205,500円

● Ⅲ種（高校新卒） 154,900円

※ 給与月額は令和2年4月1日採用者の額。

※ この他、期末・勤勉手当、地域手当、扶養手当、住居手当、通勤手当等支給。

○ 勤務条件等

■ 勤務時間【週休2日制】

原則として 9 : 00 ~ 17 : 45

■ 休暇等

- ・ 年次有給休暇（年20日）
- ・ 夏季休暇（5日）、産前産後休暇、病気休暇等
- ・ 育児休業、介護休暇

■ 福利厚生

- ・ 地方公務員共済組合
- ・ 健康診断・人間ドック・健康相談
- ・ 独身寮、職員住宅
- ・ 住宅資金等の貸付制度

○ ジョブローテーション(人事異動)

■一般行政職（I 種）の場合

本庁（2 年）→出先機関（3 年）

→平均 4、5 年サイクルで様々な分野を経験
（この間、希望者を省庁・大学院等へ派遣）

■その他の職種

職種の特性に応じて、ジョブローテーションする

■昇任と人事評価

主事・技師→副主査→主査→主任→班長→

副課長→課長→局長→部長（副課長以上が管理職）

※昇任は、人事評価等を踏まえ、能力・実績主義で

○求める人材

「和歌山のより良い未来を実現したい」という想いをもち、
「自らが考え、提案して、実行する。そして、その目的のために
力を尽くす」ことができる人

- ・和歌山県職員として、「県民の幸せは何か」「そのためには何をすべきか」を常に考えることができる人
- ・その考えを、施策として練り上げ、積極的に提案し、関係機関・関係者との連携を図りながら、着実に実行できる人
- ・うまくいかなくても、反省し、また考え、「県民の幸せを実現する」という目的を達成するため、全力を尽くすことができる人

○ 地方公務員と国家公務員

◆地方公務員

県職員：部局を越えた異動があり、地域の特性を生かした企画立案や県の幅広い業務に従事。

- ・ 本人希望により一般行政も特定分野のスペシャリストに
- ・ ゼネラリストからスペシャリストまで多様なキャリア選択

市町村職員：組織的には県に近いが、最も地域に密着した業務を行う。

◆国家公務員

総合職：各府省の採用となり、政策立案等に携わる。

一般職：主として各府省の地方局に採用され、特定分野の専門的知識が求められる。

○ 県職員採用試験の種類

● **I 種試験**（大学卒業程度）22歳～35歳（採用時）

● **Ⅲ種試験**（高校卒業程度）18歳～24歳

※ 4 年制大学で在学期間 2 年超の方は受験不可。

● **資格免許職等採用試験**

※ 必要な資格免許により試験程度、受験年齢は異なる。

● **警察官 A 採用試験**（大学卒業）22歳～32歳

● **警察官 B 採用試験**（大学卒業以外）18歳～32歳

● **任期付職員採用試験**（育休代替等）年齢制限無し

○ 最近の主な変更点

◆ 平成26年度 「一般行政職」と「学校事務職」を統合

◆ 平成30年度 I 種1次試験の専門試験（一般行政職・警察事務）、教養試験の改革

○ I 種・資格免許職募集状況（令和 2 年度）

I 種

試験区分		採用予定人員
一般行政職	通常枠	8 2 人程度
	特別枠	5 人程度
警察事務職		4 人程度
情報職 A		2 人程度
情報職 B		1 人程度
総合土木職		1 3 人程度
建築職		3 人程度
電気職		2 人程度
機械職		1 人程度
化学職 A		2 人程度
化学職 B		1 人程度
農学職		8 人程度
林学職		6 人程度
水産職		2 人程度
法医鑑識職		1 人程度

技術系職種

資格職

試験区分	採用予定人員
社会福祉士	7 人程度
心理職員	1 0 人程度
精神保健福祉相談員	2 人程度
獣医師	4 人程度
薬剤師	1 人程度
保健師	3 人程度

○ ※令和2年度試験日程等（I 種試験、資格免許職）

●試験案内配布	4 月 1 4 日（火）～	
●受付期間	4 月 2 1 日（火）～5 月 2 2 日（金）	
●第 1 次試験日	6 月 2 8 日（日）	参考（令和元年度）
●第 1 次合格発表	7 月 1 0 日（金）	7. 5
●第 2 次試験日		
<u>一般行政職通常枠</u> 〔2 日〕		
7 月下旬 の指定する 1 日（個別面接①、論文試験）		7. 22～26
8 月中旬から下旬の指定する 1 日（個別面接②、集団討論）		8. 22～30
<u>一般行政職特別枠</u> 〔1 日〕		
7 月中旬の指定する 1 日（個別面接、論文試験）		7. 17、8. 5～6
<u>技術系職種、警察事務職</u> 〔1 日〕		
7 月下旬の指定する 1 日（個別面接、論文試験）		7. 22～26、8. 22～30
<u>資格免許職</u> 〔1 日〕		
7 月下旬から 8 月上旬の指定する 1 日（個別面接、論文試験）		7. 17、8. 7～8

○ ※令和2年度試験日程等（Ⅰ種試験、資格免許職）

●最終合格発表

一般行政職通常枠

9月4日（金）

9.6

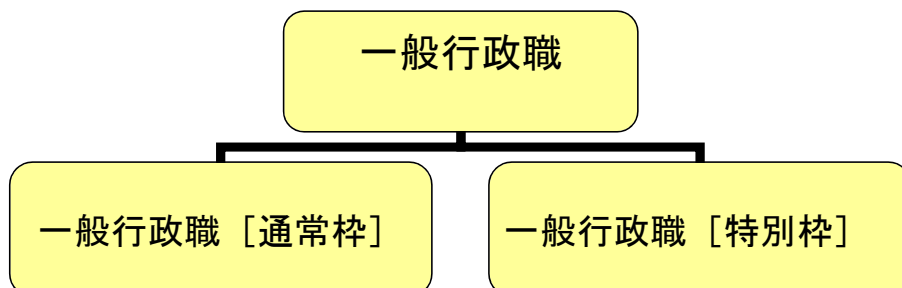
一般行政職特別枠、技術系職種、警察事務職、資格免許職

8月17日（月）

9.6

○一般行政職[特別枠]について

◆H21年度から一般行政職の試験区分に[特別枠]を導入



※ [特別枠]は、特筆すべき個人の能力や実績を得る過程で
培われた意欲・行動力・精神力を評価するため設けた試験区分

●[特別枠]の試験の特徴

1次試験で教養・専門に加え、「アピール論文試験」を実施

○試験の実施内容の変更（令和2年度から）

①技術系職種、資格免許職等の最終合格発表日の変更

（対象：一般行政職特別枠・技術系職種・警察事務職・資格免許職）

○9月上旬から「8月中旬」に変更（※一般行政職通常枠を除く）

②面接回数の削減

（対象：技術系職種・警察事務職）

（※一般行政職通常枠を除く）

③面接配点の変更

（対象：技術系職種・警察事務職）

（※一般行政職通常枠を除く）

令和元年度	
面接(1回目)	400点
面接(2回目)	1,400点
計	1,800点



令和2年度	
面接	<u>1,400点</u>
計	<u>1,400点</u>

④適性検査の実施時期の変更

（対象：全職種）

○現在、2次試験1日目において実施している適性検査を、1次試験で実施。

○第1次試験の内容（令和2年度）

① 教養試験（択一式 **40題**、**120分**）

前半30題のうち **15題** を選択解答、後半25題を必須解答

② 専門試験（択一式、120分）

＜一般行政職、警察事務職＞

4科目（「法律」・「経済」・「総合A」・「総合B」）から選択

「法律」・「経済」は40題必須解答

「総合A」・「総合B」は60題のうち40題を選択解答

＜総合土木職＞

45題中25題を必須解答、残り20題中15題を選択解答

＜その他の職種＞

40題必須解答

★選択解答の場合、
必要数以上解答し
ても加算されません。

③ 適性検査（全職種）

職務遂行のため必要な性格検査 **※面接の参考資料**

④ アピール論文試験（90分） **※一般行政職特別枠のみ**

“自身が培った能力をアピールする試験”

○第1次試験の変更（平成30年度から）

① 教養試験

平成29年度まで
(択一式50題、150分)

- ・知識分野(社会科学、人文科学、自然科学)
30題…うち25題を選択解答
- ・知能分野(文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈)
25題…必須解答

平成30年度から
(択一式40題、120分)

- ・知識分野(社会科学、人文科学、自然科学)
30題…うち15題を選択解答
- ・知能分野(文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈)
25題…必須解答

○第1次試験の変更（平成30年度から）

② 一般行政職・警察事務職の専門試験（問題数は令和元年度）

4科目の問題から受験申込時に選択（平成29年度までは40題必須解答のみ）

「法律」 40題全問必須解答

憲法(5)、行政法(12)、民法(12)、刑法(3)、労働法(3)、経済学・財政学(5)

「経済」 40題全問必須解答

経済原論(18)、財政学(4)、経済史(4)、統計学(2)、経済事情(4)、経済政策(3)
憲法・行政法・民法(5)

「総合A」 60題から40題選択解答

政治学(2)、行政学(2)、憲法(4)、行政法(5)、民法(4)、刑法(2)、労働法(2)、
経済学(11)、財政学(3)、社会政策(3)、国際関係(2)

教育学(5)、社会福祉概論(5)、社会学概論(5)、心理学概論(5)

←文系

「総合B」 60題から40題選択解答

政治学(2)、行政学(2)、憲法(4)、行政法(5)、民法(4)、刑法(2)、労働法(2)、
経済学(11)、財政学(3)、社会政策(3)、国際関係(2)

数学・物理・化学(20)

←理系

○第2次試験の内容（令和2年度）

- ① 個別面接（全職種）
複数の面接員で実施する受験者毎の人物試験
※一般行政職通常枠のみ2回実施
- ①' 集団討論（一般行政職通常枠のみ）
グループに分かれ、与えられた課題について討論
- ② 論文試験（1200字程度。90分 全職種）
当日出題された課題について自身の意見をまとめる

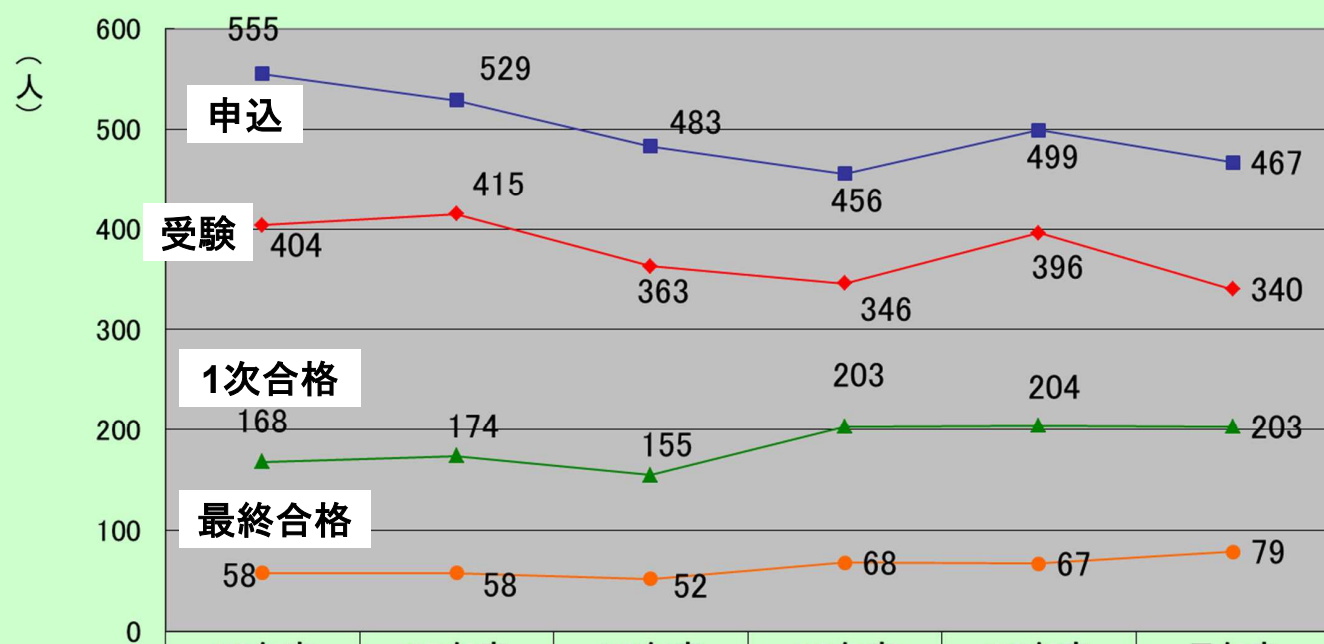
○配点

1次 < 2次
人物重視の配点

		第1次試験				第2次試験			合計
		教養	専門	アピール論文	小計	論文	面接	小計	
I種	一般行政職通常枠	400	600	—	1000	200	1800	2000	3000
	技術系職種、警察事務職	400	600	—	1000	200	1400	1600	2600
	一般行政職特別枠	120	180	700	1000				
資格職	獣医師以外	400	600	—	1000				
	獣医師	1000	—	—	1000				

- ★最終合否は、1次試験及び2次試験の総合得点により決定。
- ★1次試験、2次試験とも、各試験種目には合格基準あり。

○受験者数等の推移（Ⅰ種一般行政職）



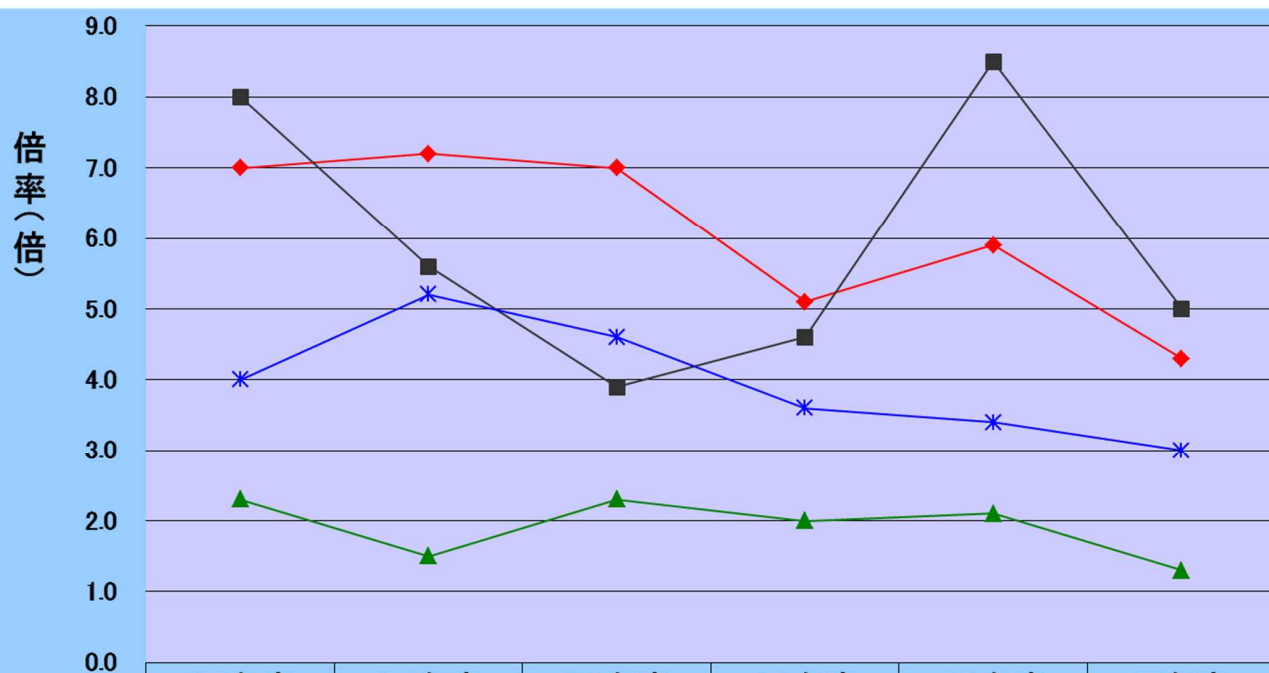
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
■ 申込者数	555	529	483	456	499	467
◆ 受験者数	404	415	363	346	396	340
▲ 1次合格者数	168	174	155	203	204	203
● 最終合格者数	58	58	52	68	67	79

和歌山県人事委員会

22

○競争率の推移（Ⅰ種）

※ 競争率＝受験者÷合格者

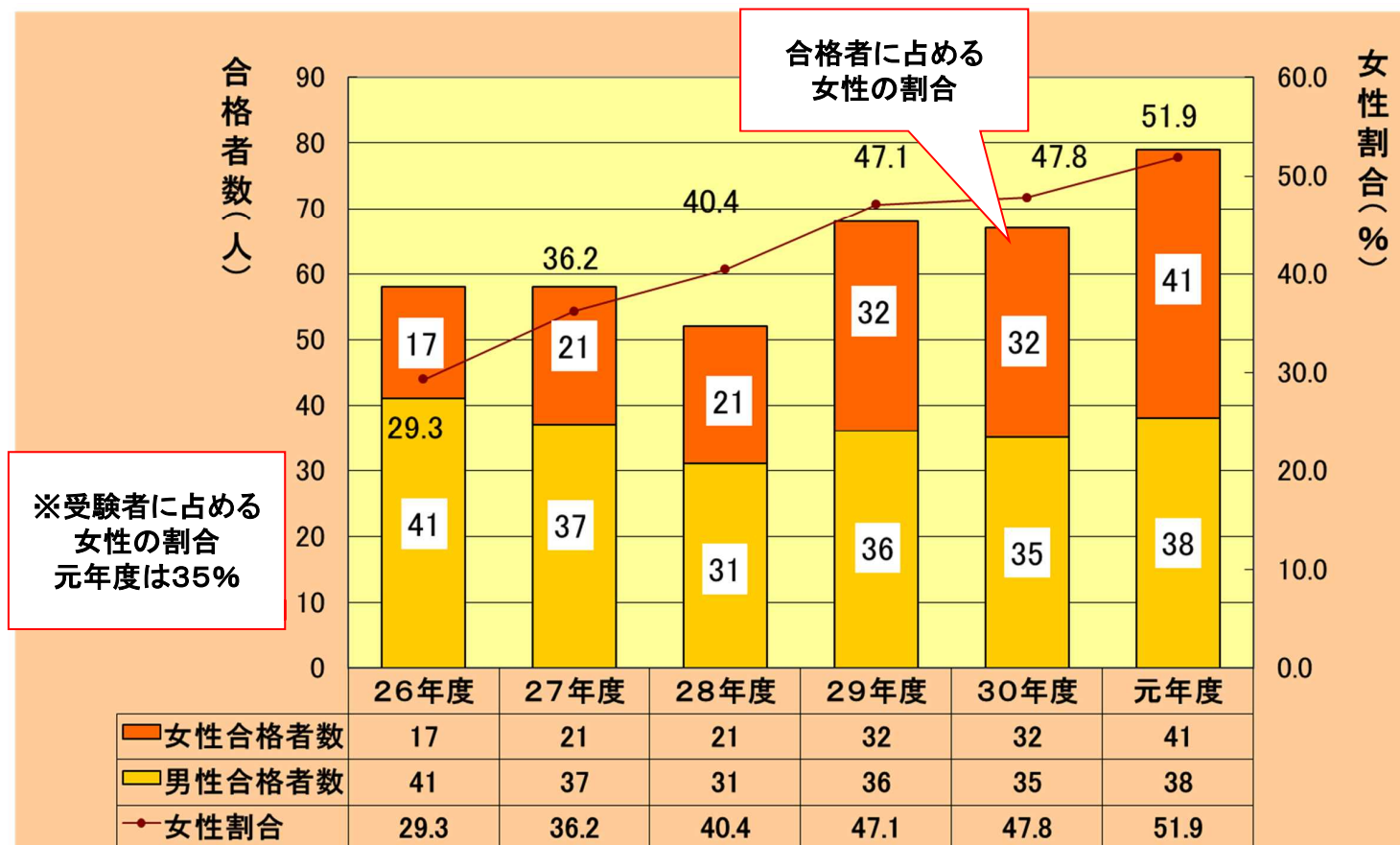


	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
◆ 一般行政	7.0	7.2	7.0	5.1	5.9	4.3
■ 警察事務	8.0	5.6	3.9	4.6	8.5	5.0
▲ 総合土木	2.3	1.5	2.3	2.0	2.1	1.3
✱ 農学	4.0	5.2	4.6	3.6	3.4	3.0

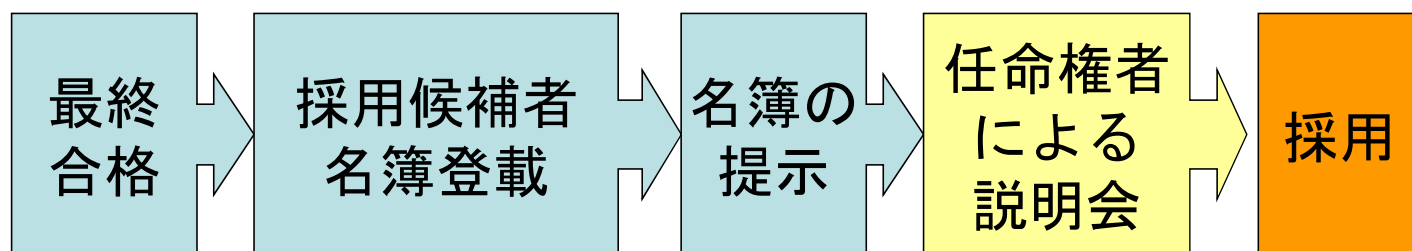
和歌山県人事委員会

23

○女性合格者数の推移（Ⅰ種一般行政職）



○ 合格から採用まで



- ・ 本人が採用を辞退したり、採用に必要な資格等を満たすことができなかった場合を除き、例年、合格者は全員採用されている。

○ 職務に関する情報提供

● 『県庁職場ガイド』

県庁の魅力を知ってもらうため、若手職員と懇談の機会を提供

〈内容〉 （所要時間： 1 時間 3 0 分～ 2 時間）

- ①これまでの経験談や仕事のやりがいなどの説明
- ②不安や疑問についての質疑応答
- ③興味のある職場への訪問

（各任命権者の人事担当課へ事前に申込みが必要。詳細は人事委員会事務局HP参照。）

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/210100/saiyou.html>

○ SNSによる情報提供

● 公式Twitter 「和歌山県職員採用情報」

- ・ アカウント名 @wakayama_saiyou
- ・ 人事委員会事務局HPにもリンクあり

● 公式Facebook

- ・ Facebook内で「和歌山県人事委員会事務局」で検索！
- ・ 人事委員会事務局HPにもリンクあり

● 公式instagram

- ・ instagram内で「recruit_wakayama」で検索！



～試験案内の配布開始や受付開始、

説明会の開催情報などをタイムリーにお届け～